



©SHIN YAMAGISHI

藤岡 幸夫 FUJIOKA Sachio (指揮)

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1992年最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られるサー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞を特例で受賞。1994年ロンドン《プロムス》にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。オペラでもスペイン国立オヴィエド歌劇場でのブリテン「ねじの回転」やR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で脚光を浴びた。

首席指揮者として毎年40公演以上を共演し2025年に26年目のシーズンを迎える関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得、2019年の首席客演指揮者就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。

英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、ALM RECORDSから関西フィルとのシベリウス交響曲全集をリリース。著書『音楽はお好きですか?』『続・音楽はお好きですか?』を敬文舎から刊行。

テレビ、ラジオへの出演も多く、番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東『エンター・ザ・ミュージック』（毎週土曜朝8:30）は2024年10月で11年目に突入、まもなく放送500回を迎える人気番組。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。津山出身の洋学者 箕作阮甫の6代末裔。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>



講殿由紀奈 Yukina Kodono (ソプラノ)

京都市立芸術大学、同大学院にて日紫喜恵美氏のもとで声楽を学び、卒業時に京都市長賞、京都音楽協会賞を、修了時に大学院市長賞を受賞。その後渡独しミュンヘンにて、声楽をエフゲニア・グレコヴァ氏、リート解釈をドナルド・ズルツェン氏、フリッツ・シュヴィングハマー氏のもとで学ぶ。グラフラートにてリートリサイタルを開催。第57回ドヴォルザーク国際声楽コンクールオペラカテゴリーファイナリストとしてカルロヴィヴァリ交響楽団と共演。名誉賞及びブラハ-アメリカ友好特別賞受賞。第7回横浜国際音楽コンクール大学生の部第2位。第71回全日本学生音楽コンクール大学の部大阪大会奨励賞。ソリストとして日本センチュリー交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団と共演。オペラでは、《魔笛》パミーナ役、《リゴレット》ジルダ役等で出演。平成27年度青山財団奨学生。日本ドイツリート協会会員。



森本 桜 Sakura Morimoto (アルト)

大阪音楽大学声楽専攻卒業、同大学大学院声楽研究室歌曲系修了。オペラでは、「フィガロの結婚」マルチェリーナ、「ジプシー男爵」ミラベッラ、「子供と魔法」雌猫/リス等で出演。ヴィヴァルディ「グロリア」や「第九」のアルトソロを務める。第7回豊中音楽コンクール、入選。第23回大阪国際音楽コンクール、Age-G歌曲コース第3位（1位、2位該当者なし）受賞。第53回フランス音楽コンクール声楽部門、第3位（1位該当者なし）受賞。「新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズ第78回」において日本センチュリー交響楽団と共演。声楽を松田昌恵氏に師事。大阪音楽大学演奏員。京都フランス歌曲協会会員。



柁木 和敬 Kazuyoshi Masaki (テノール)

国立音楽大学声楽科卒業。エウロペア音楽アカデミー プロフェッショナルコース修了（イタリア）。スロヴェニア国立ユブリアナ歌劇場で歌劇「椿姫」でデビューし、ヨーロッパ各国でオペラ公演に出演。イタリアではブスコルド市立歌劇場と契約し、ブッチーニ作曲歌劇「外套」「トスカ」などに主役テノールとして出演、またミラノのスフォルセスコ城やクザーニ宮など、イタリア各地でコンサートに出演する。日本でも各地で歌劇「アイダ」「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」など数々のオペラに主役テノールとして出演。また第九演奏会や宗教曲のソリストとしても多数出演する。地元、岡山ではルネスホール、岡山シンフォニーホール主催のオペラやコンサート、第九演奏会のソリストとして多数出演する。また、ルネス・オペラアカデミー“アルテ・シェニカ”で指導主任として後進の指導にもあたっている。福武教育文化振興財団文化奨励賞、マルセンスポーツ・文化振興財団文化賞、岡山市文化奨励賞、岡山芸術文化賞地域貢献賞受賞。藤原歌劇団団員。



黄 在麒 Hwang Jaeki (バス)

茨城県日立市出身
常総学院高等学校卒業
2014年武蔵野音楽大学卒業音楽学部声楽学科卒業
その後渡伊し、ミラノ“palazina liberti”劇場にて“フィガロの結婚”フィガロ役、ミラノ“casa di verdi”、“Galleria D’arte arsitatica”劇場のLa Traviataにて“グランヴィル医師”役で出演。
モーツァルト作曲「レクイエム」、ベートーベン作曲「第九」のソリストとして出演。
大阪摂津国際音楽コンクールにて“奨励賞”受賞。日伊声楽コンクール入選。第三回日光国際音楽祭声楽コンクール“審査員特別賞”受賞。
声楽をGiorgio Lormi、菅波ひろみ、田口宗明、Fiorenza Cedolinsの各氏に師事。
リトルカメリアコンサートにて“飯森 直観”先生が指揮するセンチュリー交響楽団と共演。
現在日本オペラ振興会、藤原歌劇団準団員。